

人生会議をやってみたら…

<健康な人の場合>

- ・自分のことを見直す時間がとれて良かった
- ・一人で思っていてもなかなか話す機会がなかったが、時間を作って家族と話し合えたら良いと思った。
- ・年末年始等家族が集まった時に、話し合ってみたい。
- ・少しずつ子供に話していますが、文字に残していません。いつどうなるかわからないので、書いておこうと思います。

(R7年度シニア応援教室 在宅医療編 参加者の声)

シニア応援教室：65歳以上の方が対象の介護予防普及啓発事業



<人生の最終段階の人の場合>

ある日がん末期Aさんの訪問看護の依頼を受けました。訪問初日は本人の想いを傾聴し、数日後Aさんの家族、在宅医、ケアマネジャーと人生会議を開催しました。Aさんは「どんな状態になっても家で過ごしたい」と想いを伝えました。途中耐えがたい痛みが出没し、家族は入院を考えましたが、本人の意向を尊重し自宅で過ごすことにしました。訪問看護師は、在宅医と連携し頻繁に訪問、薬剤で痛みの緩和をすることで落ち着きました。最後は家族に見守られながら、穏やかに息を引き取りました。家族は「あの時、自宅で最期まで過ごしたいという言葉を聴いていなければ、痛みが出た時点で入院させていた。」と話していました。皆さんも「もしも」の時のことを家族や身近な人と話してみませんか？

(青空訪問看護看護ステーション所長：増村 永善)

あなたの声も
聴かせてください…

